

社会にっぽ踏み出すと

私たちの周りには 見えない・見えにくい人が
生活しやすい工夫があります！

音響信号

地下鉄〇〇駅 出入口3

地下通路 階段

乗入口エレベーター

点字案内板

公園案内図

ほくじょう
白杖

点字ブロック

社会にっぽ踏み出すと ～さまざまな社会の工夫～

見えない・見えにくい人の生活を便利にします！



拡大読書器

文字を拡大して読みやすくします。



点字ディスプレイ

パソコンなどに接続してデータを点字で読むことができます。

テレビ対応ラジオ



音声読書器

本の内容を読みあげてくれます。

音声体重計



見えない・見えにくい人も楽しめるオセロ

盤とオセロ石が一体となっており手ざわりで白や黒がわかります。

～生活を便利にするユニバーサルデザイン～

ユニバーサルデザインが社会に広がっています！

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、すべての人が利用しやすいように、はじめから建物、製品、情報、サービスなどをデザインすることとそのプロセスのことをユニバーサルデザインといいます。



牛乳パックには「切欠き」という牛乳とわかる印があり、「切欠き」の反対側が開け口とわかるようになっています。

※イラスト出典 一般社団法人Jミルク



歩きやすい道路（段差がない）



シャンプーのボトルにはギザギザがありわかりやすくなっています。



お札の両端には印があり、触ってどのお札かわかるようになっています。



音声読み上げ機能のあるスマートフォンで文章を音声で認識できます。



自動ドアには近づいたら音が鳴り、出口がわかりやすくなっています。



～いっぽ外に出てみるといろいろな出会いが待っています！～

勇気を出して地域にいっぽを踏み出すと、いろいろなことが体験できたり、人とのつながりができたりします。

ここでは、そんな勇気の一っぽを踏み出した、見えない・見えにくい子どもの保護者の方から嬉しかったこと、楽しかった声を集めました。

普段の生活で嬉しかったこと

見える・見えない関係なく
地域の友だちと一緒に遊んだ。



子どもの友だちから点字で
書いた手紙をもらった。



買い物したとき、店員さんが
商品名を読み上げて教えてくれた。



友だちのお母さんが絵本の
読み聞かせをしてくれた。



地域のイベントに参加して嬉しかったこと

地域の人からたくさん
優しい声をかけてもらえた。



子どもが迷っていると、手を引いて
わかりやすく教えてもらえた。



イベントではいろいろな物に
触らせてもらえた。



地域の人が手を引いて、
子どもと一緒に歩いてくれた。



地域にはあたたかいことがたくさんありますね！
地域のお祭りや季節のイベントなどに勇気を持って参加してみましょう。

～見えない・見えにくい人をサポートする施設や団体～

地域において、見えない・見えにくい人たちの生活をサポートするために、様々な団体が身近なところで活動されています。ここではその一部をご紹介します。

※ その他の主な相談窓口については46Pから48Pをご覧ください。

盲導犬と歩くために

● 公益財団法人 関西盲導犬協会

〒621-0027 亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 ☎ 0771-24-0323

盲導犬の貸与や歩行訓練などに関する相談を受け付けています。

専門的な資格を得るために

● 京都府立 視力障害者福祉センター

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町21 ☎ 075-722-8203

理療師(按摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師)の養成をされています。



つながりを得るために

● 公益財団法人 京都府視覚障害者協会

〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 京都ライトハウス内 ☎ 075-463-8726

● 南部アイセンター ☎ 0774-54-6311

見えない・見えにくい当事者でつくる団体です。「独りぼっち」の視覚障害者をなくそうを合い言葉に、講演会や交流会行事の開催などが行われています。

● 各種ボランティア団体

〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 京都ライトハウス内 ☎ 075-462-4400

京都ライトハウスを拠点に、様々なボランティア団体が様々な活動をされています。主な活動例として、パソコン学習支援、手引きボランティア、点字製作、録音製作などの活動が行われています。